

Mizuho Daily Market Report

2025/10/15

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	151.96	151.84	▲0.44	▲0.06
EUR	1.1551	1.1607	+0.0037	▲0.0050
AUD	0.6455	0.6486	▲0.0029	▲0.0095
SGD	1.3013	1.2984	▲0.0002	+0.0051
CNY	7.1418	7.1372	+0.0063	+0.0148
MYR	4.2319	4.2310	+0.0033	+0.0168
THB	32.74	32.79	+0.07	+0.28
IDR	16592	16575	+15	+35
PHP	58.24	58.24	▲0.00	+0.12
INR	88.79	88.80	+0.12	+0.02
VND	26356	26355	+0	▲10

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.032%	▲0.0 bp	▲9.1 bp
日本(10年)	1.654%	▲3.4 bp	▲3.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.610%	▲2.6 bp	▲9.9 bp
オーストラリア(5年)	3.652%	▲5.1 bp	▲13.0 bp
シンガポール(5年)	1.570%	▲1.3 bp	▲9.5 bp
中国(5年)	1.590%	▲0.4 bp	▲1.8 bp
マレーシア(5年)	3.196%	▲1.7 bp	▲3.4 bp
タイ(5年)	1.241%	▲2.1 bp	+6.1 bp
インドネシア(5年)	5.352%	▲2.5 bp	▲9.6 bp
フィリピン(5年)	5.676%	▲0.3 bp	▲21.2 bp
インド(5年)	6.130%	▲2.5 bp	+1.9 bp
ベトナム(5年)	3.129%	+0.0 bp	+3.9 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	46,270.46	+0.4%	▲0.7%
N225(日本)	46,847.32	▲2.6%	▲2.3%
STOXX50(ユーロ圏)	5,552.05	▲0.3%	▲1.1%
ASX(オーストラリア)	5,110.22	+0.1%	▲0.3%
FTSTI(シンガポール)	4,354.52	▲0.8%	▲2.6%
SSEC(中国)	3,865.23	▲0.6%	▲0.5%
SENSEX(インド)	82,029.98	▲0.4%	+0.1%
JKSE(インドネシア)	8,066.52	▲2.0%	▲1.3%
KLSE(マレーシア)	1,611.46	▲0.2%	▲1.1%
PSE(フィリピン)	6,076.22	+0.4%	▲0.1%
SETI(タイ)	1,266.38	▲1.6%	▲3.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,761.06	▲0.2%	+4.5%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	294.51	▲0.3%	▲2.2%
金	4,142.94	+0.8%	+4.0%
原油(WTI)	58.70	▲1.3%	▲4.9%
銅	10,632.87	▲3.8%	▲0.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	150.60	—	153.30
EUR/USD	1.1270	—	1.1900
AUD/USD	0.6385	—	0.6780
USD/SGD	1.2760	—	1.3080
USD/CNY	7.1000	—	7.1490
USD/MYR	4.1700	—	4.3130
USD/THB	30.50	—	33.15
USD/IDR	16400	—	16800
USD/PHP	56.10	—	59.05
USD/INR	86.70	—	89.60
USD/VND	26,200	—	26,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:

Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は152円台半ばでオープン。午前は152円台前半で小動きだったが、米中貿易摩擦懸念や国内の政治不安から午後に日経平均株価の下落幅が拡大するとドル円も下落。151円台後半まで水準を切り下げ、海外時間に渡った。アジア通貨は引き続き対ドルで軟調推移。昨日、シンガポール金融管理局(MAS)は、市場予想通り2会合連続での金融政策据え置きを決定。

欧州時間のドル円は、151円台後半でオープン。朝方、英8月までの失業率が予想外に上昇したことからドルが英ポンドに対して強含む展開にドル円もやや上昇。一時152円台前半まで買われ、NYに渡った。NY市場のドル円は特段注目の経済指標発表が無い中、パウエル議長が「FRBが数カ月以内にバランスシート縮小停止の可能性がある」、「労働市場はかなり著しい下振れリスク示している」等との発言を受け、米金利の低下と共に151円台後半まで売られる。午後は方向感乏しい推移が続き、結局151円台後半でクローズした。

【金利】

昨日は、パウエル議長が講演にて利下げの可能性について示唆したことで、金利低下で反応し、2年債利回りは一時2022年以来の低水準をつけた。しかし、取引終盤にかけては金利水準やや回復し、結局米10年債利回りは前営業日比ほぼ変わらずの4.032%でクローズした。

【予想】

本日のドル円は上値重い展開を予想。昨日はパウエルFRB議長より米労働環境への懸念が示されたことを受け、NY時間にてドルが売られる展開に。昨日の海外時間の流れを引き継ぎ、ドル円は軟調な値動きとなると予想する。また、本日は米10月NY連銀製造業景気指数やFRB高官による講演が予定されており、米利下げを後押しするような内容となれば一段とドルが売られる可能性に警戒が必要か。

【本日の予定】

(日本) 8月 鉱工業生産(確) / 設備稼働率
(日本) 国債入札(20Y)
(アジア) 8月 インドネシア 毎月勤労統計
(アジア) 8月 フィリピン フィリピン人海外労働者送金
(アジア) 9月 インド 失業率
(アジア) 9月 インド 貿易収支
(アジア) 9月 中国 CPI / PPI
(アジア) 9月 豪 西海岸パック 景気先行指数
(欧州) 8月 ユーロ圏 鉱工業生産
(欧州) 8月 イ 一般政府債務
(欧州) 8月 愛 貿易収支 / 不動産価格
(欧州) 9月 仏 CPI(確)
(欧州) 9月 西 CPI(確)
(欧州) 独 国債入札(30Y)
(米国) 10月 ニューヨーク連銀製造業景気指数
(米国) 9月 CPI
(米国) 9月 実質平均時給
(米国) G20財務相・中銀総裁会議(ワシントン)
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ベージュブック

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。